

YAMAHA

NATURAL SOUND AV SELECTOR

AVC-100

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハAVセレクターAVC-100をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

AVC-100の優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書を、ご使用前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

またお読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

目次

特長	2	各部の名称とはたらき(2)	8
ご使用のまえに	2	操作のしかた	10
豊かなAVライフのために	3	故障かなと思ったら	12
システム接続図	4	参考仕様	13
各部の名称とはたらき(1)	6	ヤマハホットラインサービスネットワーク	14

特長

本機は、ヤマハ最新のデジタル技術、音場技術を駆使して開発されたDSPアンプ、DSP-107AST / 105ASTと組み合わせでご使用いただけるよう設計されたAVセクターです。

また、多数の入・出力系統を装備していますので、他のパワーアンプと組み合わせてご使用になりましても、発展型AVシステムのコントロールセンターとして、その機能を十分に発揮するAVセクターです。

●AVおよびマルチチャンネル再生の核となるAVセクター

本機はオーディオ10系統、ビジュアル8系統の入力端子およびオーディオ4系統、ビジュアル2系統のREC OUT端子、そして2系統のプリアウト端子を装備。加えてS-VHS、EDベータ方式対応のSビデオ入・出力端子も装備しています。

●便利なフロント入力端子

フロントパネルに入力端子を装備していますので、ビデオカメラなど、ビジュアル機器を手軽に接続できます。

●フォノイコライザー内蔵

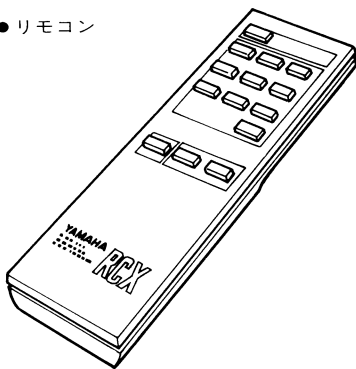
MMカートリッジ対応のフォノイコライザーを内蔵。アナログディスクに対しても万全です。

ご使用のまえに

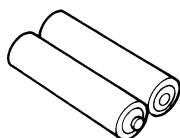
■付属品をご確認ください。

付属品は4種類あります。

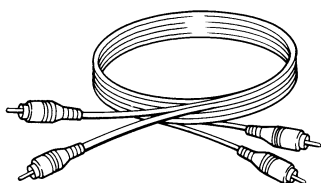
●リモコン



●単4乾電池 2本



●ピンプラグコード(2P:音声用) 1本

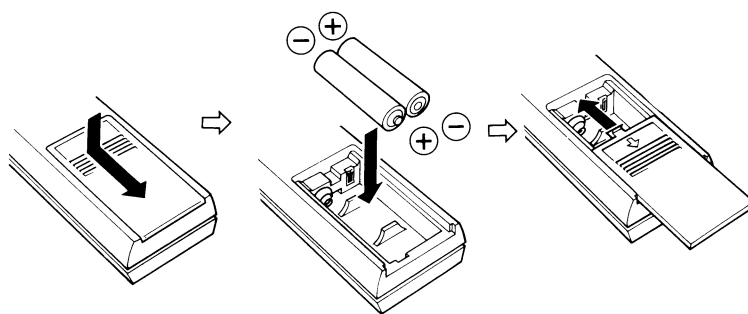


●ピンプラグコード(1P:映像用) 1本



■電池の入れかた

- 1 リモコンの裏ふたを開けます。
- 2 単4乾電池2本をケース内の指示に従って⊕、⊖を正しく入れます。
- 3 カチッと音がするまで裏ふたを閉めます。



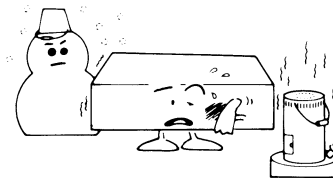
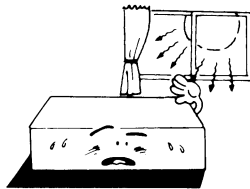
■乾電池についてのご注意

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れたりしないでください。万一液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

豊かなAVライフのために

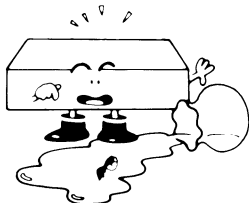
高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。

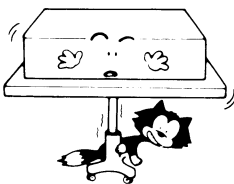


ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上には、花瓶や金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

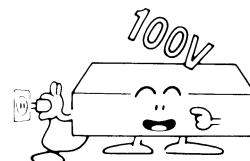


不安定な場所をさけて！

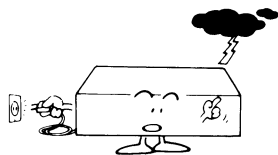


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V



雷が近づいたら



早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

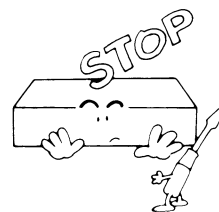
薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。



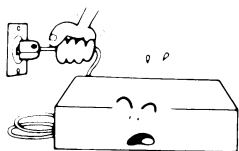
開けないで！

内部に手を入れると危険です。ケースは開けないでください。



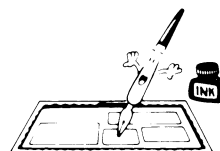
引っぱらないで！

電源コード・ピンコードを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



こわれた？



12ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

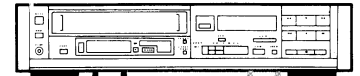
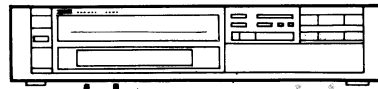
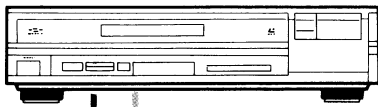
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

LD (CDV) プレーヤー

ビデオデッキ1

ビデオデッキ2



映像出力端子へ
音声出力端子へ

映像出力端子へ
映像入力端子へ

音声出力端子へ
音声入力端子へ

映像出力端子へ
映像入力端子へ

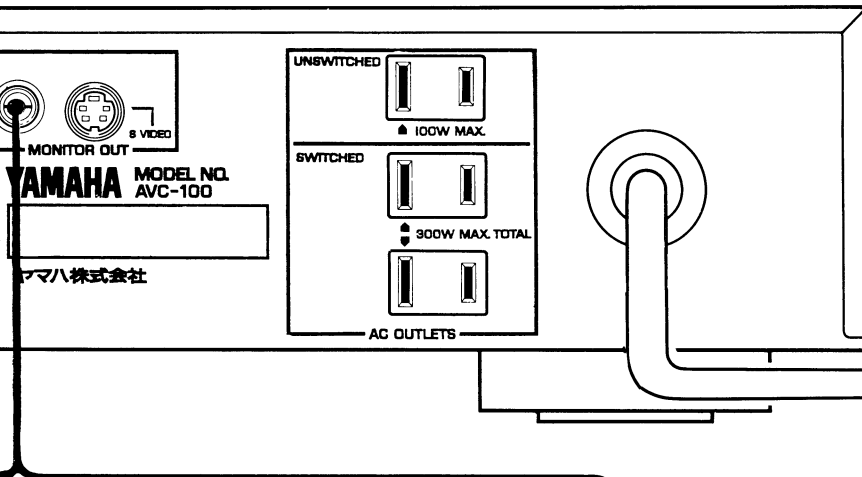
音声出力端子へ
音声入力端子へ

● S端子付きのビデオデッキは、S-VIDEO端子に接続することができます。詳細は8ページをご参照ください。

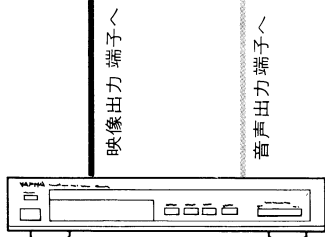
■設置場所について

本機を設置の際は通気性の良い場所を選び、放熱を妨げないようにしてください。また、本機をご使用にならないときは、本機のPOWERスイッチを切ってください。

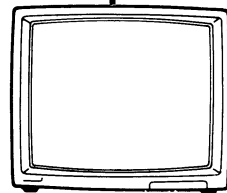
—▶— : 音声 (AUDIO) 信号の流れ
—▶— : 映像 (VISUAL) 信号の流れ



● S端子付きのモニターテレビはS-VIDEO MONITOR OUT端子に接続することができます。詳細は8ページをご参照ください。



BSチューナー、テレビ
(テレビチューナーなど)



モニターテレビ

- 接続の際は8、9ページの各部の名称とはたらき(2)を良く読んでから行ってください。
- 本機のビジュアル系の入・出力端子は黄色、オーディオ系入・出力端子のLチャンネルは白色、Rチャンネルは赤色になっています。
接続の際は各機器の電源を切り、Lチャンネル(左)、Rチャンネル(右)、IN(入力)、OUT(出力)を確認して正しく接続してください。
- 接続する機器によっては端子名などが異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。
- 本機はアナログ接続専用です。接続する機器にアナログ、デジタルの両方がある場合は、アナログ入・出力端子を使って本機に接続してください。
- 接続に誤りがないことを確認してから、電源コードをACコンセントに差し込んでください。

各部の名称とはたらき (1)

フロントパネル

POWERスイッチ

本機の電源をオン/オフするスイッチです。電源がオンのときはスイッチ上のインジケータが点灯します。

- リモコンのPOWERキーでオフにすると、暗く点灯し、本体のPOWERスイッチでオフにすると消灯します。

リモコン受光窓

リモコンからのコントロール信号（赤外線）を受光するところです。

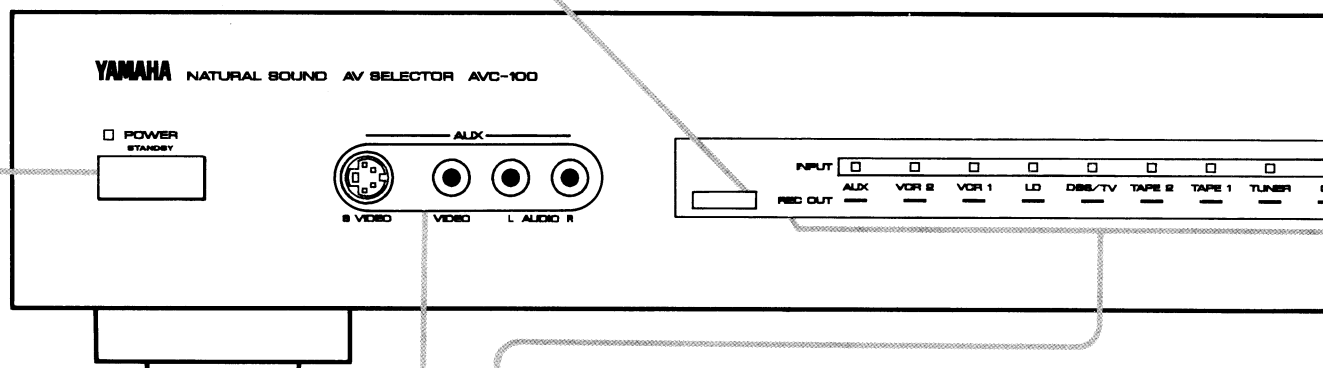
REC OUTセレクト

録音するプログラムを選ぶキーです。

キーの◀または▶側を押して、希望するプログラムのインジケータを点灯させます。

- 右のREC OUT ON/OFFキーがオフのときは動きません。

PHONO	レコードを録音するとき。
CD	CDを録音するとき。
TUNER	AM / FM放送を録音するとき
TAPE 1	TAPE 1端子に接続したテーブデッキのプログラムをダビングするとき。
TAPE 2	TAPE 2端子に接続したテーブデッキのプログラムをダビングするとき。
DBS / TV	BSチューナーまたはテレビのプログラムを録音・録画するとき。
LD	レーザービジョンディスクプレーヤーやCDVプレーヤーなどのプログラムを録音・録画するとき。
VCR 1	VCR 1端子に接続したビデオデッキのプログラムをダビングするとき。
VCR 2	VCR 2端子に接続したビデオデッキのプログラムをダビングするとき。
AUX	AUX端子に接続した機器のプログラムを録音・録画するとき。



AUX(補助)入力端子

ビデオカメラなど、ビジュアル機器のための補助入力端子です。

機器の映像出力端子とVIDEO端子を、音声出力端子とAUDIO L, R端子を接続します。また接続する機器にSビデオ出力端子がある場合は、S VIDEO端子に接続することができます。

インジケータ

INPUT	INPUT SELECTOR で選んだプログラムが点灯します。
REC OUT	REC OUT ON/OFFキーがオンのとき、REC OUTセレクトで選んだプログラムが点灯します。
MUTING -20dB	MUTINGキーを押してミュート中に点灯します。

ATT.キー

本機のOUTPUT VARIABLE端子の出力レベル(音量)を調整します。

UP側を押しますと、出力レベルが上がり、DOWN側を押しますと下がります。

- FIXED端子を使って接続している場合は、出力レベルを調整することはできません。

MUTINGキー

このキーを押しますと音量が-20dB (1/10) に下がります。もう一度押してミュートを解除しますと、元の音量に戻ります。

インプット セレクター
INPUT SELECTOR

再生するプログラムを選ぶキーです。

キーの◀または▶側を押して、希望するプログラムのインジケータを点灯させます。

PHONO	レコードプレーヤー
CD	CDプレーヤー
TUNER	チューナー (AM / FM放送)
TAPE 1	TAPE 1端子に接続したテープデッキ
TAPE 2	TAPE 2端子に接続したテープデッキ
DBS / TV	BSチューナーまたはテレビ
LD	レーザービジョンディスクプレーヤーやCDVプレーヤーなど。
VCR 1	VCR 1端子に接続したビデオデッキ
VCR 2	VCR 2端子に接続したビデオデッキ
AUX	AUX端子に接続した機器

リモコンユニット

DSP-107ASTと組み合わせてご使用になる場合は、DSPに付属のシステムリモコンをご使用になると便利です。

送信窓

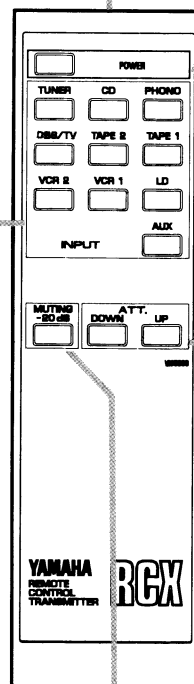
リモコンのコントロール信号を出す窓です。

本体中心部のリモコン受光窓に向けて操作してください。

パワー
POWERキー

POWERスイッチがオンのとき、本体の電源をオン / オフします。

リモコンで電源をオフした場合は、本体のPOWERスイッチ上のインジケータが暗く点灯します。



ミュート
MUTINGキー

本体のMUTING キーと同じ働きをします。

キーを一度押しますとミュート (音量が下がる) になり、もう一度押しますと解除されます。

インプット
INPUTキー

本体のINPUT SELECTORと同じ働きをします。再生するプログラムをダイレクトに選ぶことができます。

アッティネーター
ATT. キー

本体のVOLUMEと同じ働きをします。出力 (音量) レベルを調整します。

レック アウト オン / オフ
REC OUT ON / OFFキー

レックアウト (録音・録画) 信号をオン / オフするキーです。キーを押しオンにしますと、REC OUTセクターで選んだプログラムのインジケータが点灯し、信号が各OUT (REC OUT) 端子に出力され、もう一度押しますとインジケータが消え出力が停止します。

各部の名称とはたらき (2)

リアパネル

リモート コントロール REMOTE CONTROL 端子

DSP-107ASTに付属のリモコンをご使用になりますと、本端子に接続している機器をコントロールすることができます。

PHONO RSマークのあるレコードプレーヤーをプレーヤーに付属のリモコンケーブルで接続します。

TUNER RSマークのあるチューナーをDSP-107AST / 105ASTに付属のリモコンケーブル (5pin) で接続します。

TAPE RSマークのあるカセットデッキをDSP-107AST / 105ASTに付属のリモコンケーブル (6pin) で接続します。

- チューナー、テープデッキのなかにはリモコンで直接コントロールできる機器もあります。その場合はリモコンケーブルを接続する必要はありません。

ビデオ シグナル VIDEO SIGNAL (映像信号)入・出力端子

映像用ピンプラグコード (1P) で接続します。

DBS / TV BSチューナーやテレビの映像出力端子と接続します。

LD LD (レーザービジョンディスク) プレーヤーやCDVプレーヤーの映像出力端子と接続します。

VCR 1 ビデオデッキの映像入・出力端子と接続します。

VCR 2 2台目のビデオデッキを接続します。

S VIDEO 端子

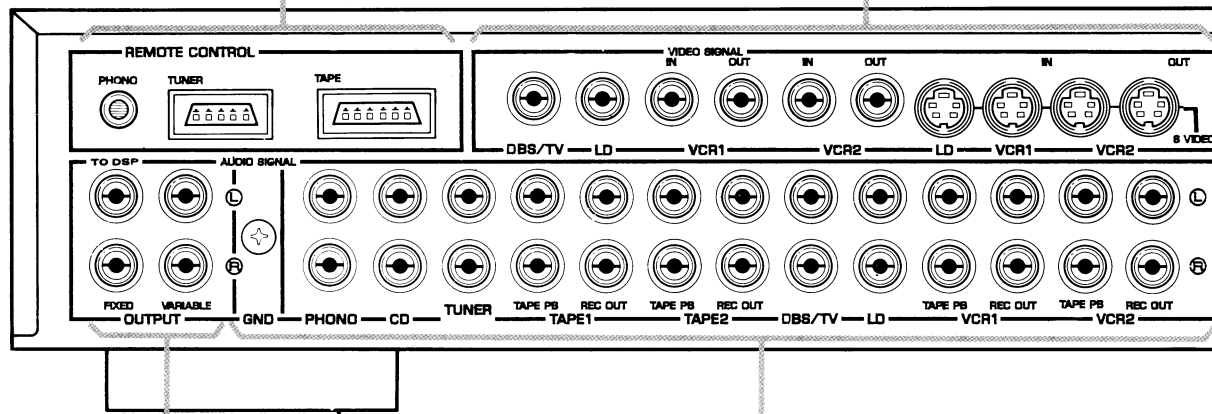
Sビデオ端子を装備した機器を接続する端子です。Sビデオ用ケーブルで接続します。

LD レーザービジョンディスクプレーヤーのSビデオ出力端子と接続します。

VCR 1 ビデオカセットレコーダーのSビデオ出力端子と接続します。

- VCR 1のS接続は再生専用となります。

VCR 2 2台目のビデオカセットレコーダーのSビデオ入・出力端子と接続します。



アウト プット OUTPUT 端子

INPUT SELECTORで選んだプログラムの音声信号をDSPまたはメインアンプへ出力する端子です。

FIXED 出力レベルは固定されています。ATT.キーで音量を調整することはできません。

- 別売のDSP-107AST / 105ASTはこの端子に接続します。

VARIABLE 本端子からの出力レベルはATT.キーで調整することができます。

オーディオ シグナル AUDIO SIGNAL (音声)入・出力端子

音声用ピンプラグコード (2P) で接続します。

PHONO MMカートリッジのついたレコードプレーヤーの出力コードを接続します。

- MCカートリッジのついたレコードプレーヤーは直接接続はできません。MCヘッドアンプまたは昇圧トランス経由でご使用ください。

GND レコードプレーヤーのアース線を接続します。

CD CDプレーヤーのアナログ出力端子と接続します。

TUNER チューナーの出力端子と接続します。

TAPE 1 カセットテープデッキまたはDATの録音・再生端子と接続します。

TAPE 2 2台目のカセットテープデッキまたはDATを接続します。

■VIDEO SIGNAL/S VIDEO端子について

- Sビデオ入・出力端子とピンジャック入・出力端子は、別個の回路構成となっていますので、独立して機能します。
- Sビデオ入力とピンジャック入力のINPUT SELECTORは連動しています。Sビデオ入力のないプログラムを選択しているときは、MONITOR OUTのS VIDEO端子には信号は出力されません。
- VCR 1(またはVCR 2)のSビデオ入力端子とピンジャック入力端子の両方に接続されている場合、VCR 1(またはVCR 2)をINPUT SELECTORで選択しますと、MONITOR OUTにはSビデオ端子とピンジャック端子の両方に信号が出力されます。S信号またはピンジャック信号のどちらかをモニターするかはモニターテレビ側で選んでください。

●S端子使用時のご注意

本機の回路構成上VCR 2のS VIDEO OUT端子は、機器に接続しないケーブルを差し込んだまま(ケーブルの片方のコネクターのみを接続し、もう一方のコネクターを遊ばせている状態)使用しないでください。

モニターアウト MONITOR OUT端子

映像用ピンプラグコード(1P)でモニターテレビの映像入力端子と接続します。
Sビデオ入力端子を持つモニターテレビは、Sビデオケーブルで本機のS VIDEO端子と接続します。

エーシー アウトレッツ AC OUTLETS(電源供給コンセント)

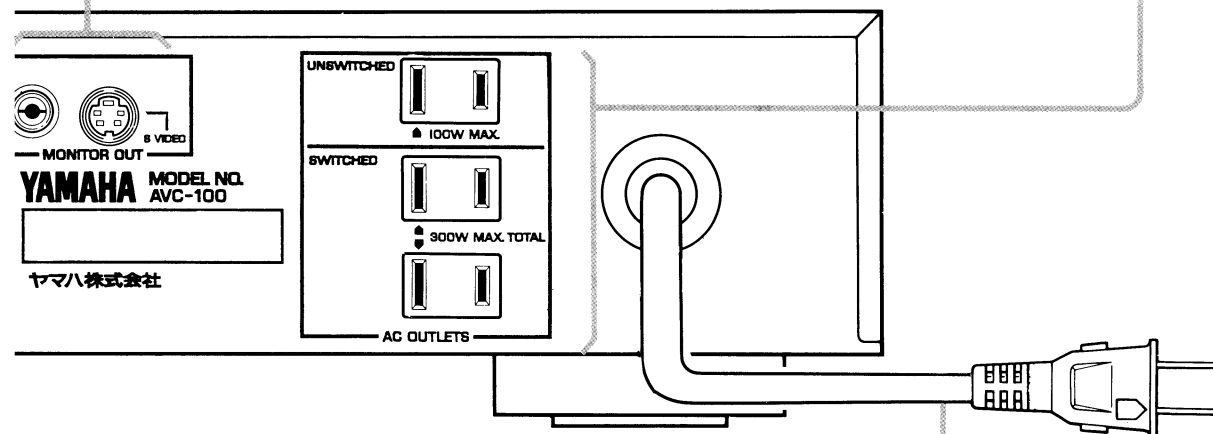
UNSWITCHED

本機のPOWERスイッチのオン/オフに関係なく、消費電力100Wまでのオーディオ機器に電源を供給することができます。

SWITCHED

本機のPOWERスイッチと連動しています。2個のコンセントの合計消費電力が300Wまでのオーディオ機器に電源を供給することができます。

- AC OUTLETSの▲は極性(トランスの巻き始め)表示です。これは機器の極性を合わせるためのものです。本機のACコンセントに接続するオーディオ機器の電源プラグに極性表示ある場合は、マークをあわせて接続してください。



DBS / TV

- DATはアナログ入・出力端子を使って接続してください。

BSチューナーやテレビの音声出力端子と接続します。

LD

- BSチューナーはアナログ出力端子を使って接続してください。

レーザービジョンディスクプレーヤーやCDVプレーヤーの音声出力端子と接続します。

- レーザービジョンディスクプレーヤーやCDVプレーヤーはアナログ出力端子を使って接続してください。

VCR 1

ビデオデッキの音声入・出力端子と接続します。

VCR 2

2台目のビデオデッキの音声入・出力端子と接続します。

電源コード

電源プラグはAC100Vの家庭用コンセントに接続してください。

本機の消費電力は9Wです。

本機の電源コードには、極性表示(電源トランスの巻き始め側をプラグに▲マークで表示)されています。これは各機器の電源の極性を合わせるためです。家庭用のコンセントに接続する場合、極性のある方を家庭用コンセントの長い方の穴に合わせて接続してください。

操作のしかた

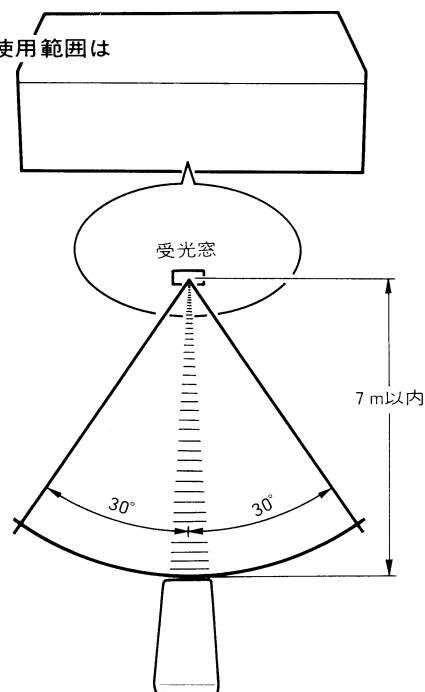
■再生のまえに

- 電源を入れる前に、接続が間違いないかもう一度確認してください。
- リモコンで操作する場合は、対応するキーをご使用ください。
- 本機のINPUT SELECTORは電子スイッチを使用しています。本機の電源をオフにして、接続されている機器を直接ヘッドホンで聴く場合に音が歪むことがあります。そのようなときは、本機の電源をオンにしてください。

■リモコンのご使用にあたって

リモコンは、直進性の強い赤外線を使っています。本体の受光部に向けて、正しく操作してください。受光部を覆ったり、リモコンと受光部の間に障害物があると動作しません。また受光部に強い光が当たると、誤動作することがありますので注意してください。

リモコンの使用範囲は



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。

再生のしかた

- 1 本機とメインアンプおよび再生するAV機器の電源を入れます。
- 2 INPUT SELECTORで再生するプログラムを選びます。
- 3 プログラムの再生を開始します。
 - AV機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
 - VARIABLE端子を使って接続している場合は、音量をATT.キーで調整することができます。
 - FIXED端子を使ってDSP-107AST/105ASTアンプと接続している場合、音量はDSPアンプ側のマスターボリュームで調整してください。

テープデッキでの録音のしかた

- 1 本機および各機器の電源を入れます。
- 2 REC OUT ON/OFFキーを押してオンにします。
- 3 REC OUTセクターで録音をするプログラムを選びます。
- 4 テープデッキを操作して録音レベルを調整したあと、録音一時停止状態(REC PAUSE)にします。
- 5 録音するプログラムの再生をスタートします。同時にテープデッキを操作し、録音を開始します。
 - 録音内容をモニターする場合は、録音をしているプログラムをINPUT SELECTORで選びます。
 - ビデオデッキをオーディオデッキとして録音に使用する場合は同様の操作を行ってください。
 - INPUT SELECTORで他のプログラムを選択しますと、録音をしながら、選択した他のプログラムを再生することができます。
 - テープデッキの操作は、テープデッキの取扱説明書をご参照ください。

REC OUTセクターについて

REC OUTセクターはINPUT SELECTORとは関係なく独立して働きます。例えばFM放送を聴きながら、CDをテープに録音することなどが同時に行えます。

ビデオデッキでの録画のしかた

本機に接続したビジュアル機器のプログラムをビデオデッキで録画をすることができます。

- 1 本機および各機器の電源を入れます。
 - 2 REC OUT ON/OFFキーを押してオンにします。
 - 3 REC OUTセレクターで録画をするプログラムを選びます。
 - 4 ビデオデッキを操作して録画一時停止状態にします。
 - 5 録画するプログラムの再生をスタートし、同時にビデオデッキの録画を開始します。
- モニターする場合は、再生をしているプログラムをINPUT SELECTORで選びます。
 - INPUT SELECTOR で他のプログラムを選択しますと、録画をしながら、選択した他のプログラムを再生することができます。
 - 2台のビデオデッキで同時に録画することができます。また音声のみを（オーディオ）テープデッキで録音することができます。
 - ビデオデッキの操作は、ビデオデッキの取扱説明書を参照してください。
 - 録画をするときは、あらかじめテスト録画をしてください。

テープのダビングのしかた

テープデッキを2台使用しますと、テープをダビングをすることができます。

TAPE 1→TAPE 2

テープデッキ1からテープデッキ2へダビングするときは、REC OUTセレクターでTAPE 1を選び、テープデッキ1でダビングするテープを再生し、テープデッキ2で録音します。

TAPE 2→TAPE 1

テープデッキ2からテープデッキ1へダビングするときは、REC OUTセレクターでTAPE 2を選び、テープデッキ2でダビングするテープを再生し、テープデッキ1で録音します。

- REC OUT ON/OFFキーがオンになっていることを確認してください。

ビデオテープのダビングのしかた

ビデオデッキを2台使用しますと、ビデオテープをダビングをすることができます。

VCR 1→VCR 2

ビデオデッキ1からビデオデッキ2へダビングするときは、REC OUTセレクターでVCR 1を選び、ビデオデッキ1でダビングするテープを再生し、ビデオデッキ2で録画します。

VCR 2→VCR 1 (S端子接続のみの場合はできません)

ビデオデッキ2からビデオデッキ1へダビングするときは、REC OUTセレクターでVCR 2を選び、ビデオデッキ2でダビングするテープを再生し、ビデオデッキ1で録画します。

- REC OUT ON/OFFキーがオンになっていることを確認してください。

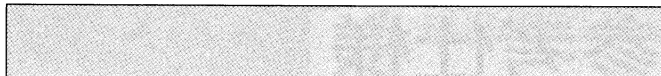
タイマー録音・録画、タイマー再生

本機はマイコンが電源を切る前の状態を記憶（1時間通電し、ますと通常で1週間程度）していますので、市販のオーディオタイマーと組み合わせることにより、タイマー録音・録画やタイマー再生をすることができます。

- ご使用になるテープデッキ、ビデオデッキ、オーディオタイマーなどの取扱説明書をご参照になり、タイマー録音・録画やタイマー再生のための接続をします。

あなたが、テレビ放送やレコード、録画物などから録音録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

故障かなと思ったら



本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しないとき、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
POWERスイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの接続が不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
音が出ない	インプットセレクターが、再生したいプログラムにセットされていない	再生したいプログラムのインジケーターを点灯させてください。
	ボリューム(ATT.)が絞られている (VARIABLE端子を使って接続している場合)	本体またはリモコンのATT.キーで、音量を上げてください
	接続が不完全	接続を確認してください
片チャンネルの音が出ない	接続が不完全	接続を確認してください
ハム音がでる	ピンプラグコードの接続が不完全	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください
	レコードプレーヤーのアースコードを接続していない	アースコードを本機のGND端子に接続してください
レコード演奏のときに音が小さい	MCカートリッジを装着したレコードプレーヤーを演奏している	MCカートリッジ装着のレコードプレーヤーはMCヘッドアンプを使って本機に接続してください
音量があまり上がらない	MUTINGがオンになっている	MUTINGをオフにしてください
リモコンで操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	本体のリモコン受光窓との間に障害物がある	本体のリモコン受光窓に対して7m以内、角度30度以内の範囲で操作してください
本機に接続しているCDプレーヤーやカセットデッキにヘッドホンを接続してモニターをすると音が歪む。	本機の電源をOFFにしている	本機の電源をONにしてください